

## 習志野演習場・駐屯地へのオスプレイの飛来及び訓練と船橋市上空通過に反対する陳情

### 〔陳情趣旨〕

昨年7月に陸上自衛隊オスプレイ2機が木更津に配備され、11月には試験飛行が行われました。7月に米軍岩国基地から木更津に輸送された際には天候不良を理由に何度も到着日程が延期され、梅雨時の雨風でさえ飛べないオスプレイに災害救助などできるのか、といった疑問の声が上がっています。

また到着後の機体整備にも予定されていた以上の日数がかかり、到着から約3か月も経た11月になって初の試験飛行が行われましたが、新品の機体であるにもかかわらず、いきなり警告灯が点灯し、場外への飛行を急遽取りやめるということになりました。パイロットによる人為的なミスではない、機体不良が原因であることを防衛省も認めています。こういった状況でもあり、いまだ陸自オスプレイの本格的訓練は行われていませんが、遠からず、習志野演習場への飛来、訓練が行われるであろうことは防衛省の発表により明らかです。

更に5機米国から日本に到着すると言われており、そうなると木更津に7機配備されてしまいます。

船橋市議会ではすでに昨年第1回定例会において「陸上自衛隊が運用する垂直離着陸輸送機『オスプレイ』が陸上自衛隊習志野演習場・駐屯地へ飛来することについて、地域住民への十分な説明を求める意見書」が可決され、さらに6月30日には「木更津駐屯地への陸上自衛隊オスプレイ暫定配備に関する要請書」が船橋、習志野、八千代の3市長の連名で防衛省に出されているにもかかわらず、未だ防衛省からは船橋市長、議会、そして市民への説明・回答がいっさい行われていません。降下訓練が行われている中で、全国で1番狭い演習場のある街で暮らす私たち船橋市民には日頃の訓練における騒音や場外降着といった苦難を押し付けておきながら、はなはだ不誠実な態度だと言わざるを得ません。これらのことを勘案して、今後、防衛省は私たち船橋市民が納得できる説明をすることもなく、オスプレイの飛行と訓練を強行してくるのではないかと危惧しています。よって下記の事項を陳情します。

### 〔陳情項目〕

- 1、習志野演習場・駐屯地においてオスプレイが訓練を行わないように国に求めてください。
- 2、オスプレイが船橋市上空を飛ばないように国に求めてください。
- 3、木更津駐屯地を含め、日本のどこにもオスプレイの配備をしないように国に求めてください。

以上